

# 令和8年度かわさき基準（KIS）認証福祉製品 基本情報・審査情報シート

## 1. 基本情報 基本的な事項について記入する項目です。

### (1) 基本事項

申請事業者情報		開発・製造事業者			
① 事業者名(公開)	〇〇株式会社				
② 代表者職・氏名【役職・氏名・ふりがな】(公開)	役職	代表取締役	ふりがな	かわさき はなこ	氏名
				川崎 花子	
③-1 所在地(公開)	〒	000-0000	住所	東京都千代田区〇〇1-1-1	
③-2 【該当者のみ】所在地(公開)※川崎市内在る事業所等の住所を記載(③-1に記載の場合、記載必要なし)	〒	000-0000	住所	神奈川県川崎市〇〇区〇〇1-1 △△ビル2階	
③-3 【該当者のみ】③-2に設置されている、川崎市内在る事業所名を記載	川崎営業所				
④ 問合せ先 電話番号(公開)	000-000-0000				
担当者名【所属・役職・氏名】(非公開)	所属	〇〇部△△課	役職	課長	氏名
担当者住所(非公開)	〒	000-0000	住所	神奈川県川崎市〇〇区〇〇1-1 △△ビル2階	
⑤ 電話番号(非公開)	044-XXX-XXXX				
担当者 問合せ先 ファックス番号(非公開)	044-XXX-XXXX				
メールアドレス(非公開)	xxx@xxxxxxxx.co.jp				
⑥ 申請者の要件	イ)川崎市内に拠点をもち、当該製品の販売を行う企業				
<p>【選択により、回答箇所・回答内容が異なります】</p> <p>申請者の要件でア)を選択：⑦～⑫の記入は不要です。</p> <p>申請者の要件でイ)を選択：開発・製造事業者の情報について⑦～⑫にご記入ください。⑫は記入不要です。</p> <p>申請者の要件でウ)を選択：⑫へ川崎市内への拠点の立地の具体的な検討状況を下記に記載願います。⑦～⑫は記入不要です。</p> <p>申請者の要件でエ)を選択：協業先の事業者情報について⑦～⑫にご記入ください。また、⑫にどのような形で協業を行っているのか、具体的に記載してください。</p>					
⑦ 開発・製造事業者名(公開)	△△株式会社				
⑧ 代表者職・氏名【役職・氏名・ふりがな】(公開)	役職	代表取締役	ふりがな	かながわ たろう	氏名
				神奈川 太郎	
⑨ 所在地(公開)	〒	000-0000	住所	東京都千代田区△△△1-1-1	
⑩ 問合せ先 電話番号(公開)	03-0000-0000				
担当者名【所属・役職・氏名】(非公開)	所属	△△部〇〇課	役職	課長	氏名
担当者住所(非公開)	〒	000-0000	住所	東京都千代田区△△△1-1-1	
⑪ 電話番号(非公開)	03-0000-0000				
問合せ先 ファックス番号(非公開)	03-0000-0000				
メールアドレス(非公開)	xxx@xxxxxxxx.co.jp				
⑫ 申請者の要件でウ)を選択した場合 川崎市内への拠点の立地に関する具体的な検討状況					
⑫ 申請者の要件でエ)を選択した場合 具体的な協業内容					

**(2) 製品の基本情報**

① 製品名(公開)	〇〇ロボット			
② 製品PR(15字程度)(公開)	段差も楽々移動できる電動車いす			
③ 型番(公開)	K-01			
④ 製品の種類(公開)	福祉用具・障害者総合支援法に基づく補装具・日常生活用具			
⑤ 介護保険対象(公開)	対象			
⑥ TAISコード番号の有無(公開)	有			
TAISコード番号(公開)	XXXXX-XXXXXX(5桁:企業コード、6桁:福祉用具コード)			
⑦ 補装具・日常生活用具対象(公開)	対象(補装具)			
対象自治体名(主なもの)(非公開)	東京都〇〇区			
⑧ JIS・ISOコード取得の有無(非公開)	有(JIS)			
⑨ 海外の認証コード取得の有無(非公開)	無			
認証コード名(主なもの)(非公開)	上記で有を選択した場合、認証コード名をご記入ください			
⑩ 対象製品の知的財産権の有無(非公開) ※特許権・商標権で有を選択した場合、それぞれ「登録番号・出願番号」と権利の内容についてご記入ください	特許権	有	登録番号・出願番号	特許第0000000号
	特許権の内容	〇〇〇〇〇		
	商標権	無	登録番号・出願番号	
	商標権の内容			
⑪ 製造上の責任を負う事業者名(非公開) ※対象製品の販売・提供にあたり、必要な法規等があれば併せて	△△株式会社			

**(3) 製品の概況**

① 仕様(300字程度)(公開) ・寸法(縦×横×高さ)、重量、面積 ・製品を特徴付ける素材や形状 ・その他(製品利用に必要な電力量等)	・寸法:〇mm×〇mm×〇mm、重量:〇kg ・素材:〇〇 ・電力:〇V			
② 販売開始年月(公開) ※和暦で記載	平成〇年〇月			
③ 昨年度販売数(非公開)	〇台			
③ 累積販売数(非公開)	●●台			
主な販売先(在宅、施設種別)(非公開)	在宅、介護老人保健施設			
④ 販売目標(100字程度)(非公開) ・認証後の目標販売数(年間)	●●台/台			
⑤ 販売対象地域(公開)	国内のみ			
⑥ 販売価格(希望小売価格)(税抜)(公開)	000,000円	課税区分	非課税	
	福祉用具貸与最頻価格(税抜)(該当のみ)	000,000円	課税区分	非課税
	福祉用具貸与平均価格(税抜)(該当のみ)	000,000円	課税区分	非課税
⑦ 製品の利用条件(100字程度)(公開) ・利用方法、場面等 ・利用者制限の有無(身長・体重・可動域等) ・インターネット環境・電源の有無等 ※ 具体的に記載してください	・室内または屋外で利用可能。〇〇な場合は利用不可。 ・耐荷重 ●kg、身長●cm～●cm ・充電の方法は〇〇。			

#### (4) 公開用画像／審査用動画

##### 公開用画像(公開)

写真1: ウェブ公開用画像

写真2: 製品体験会チラシ及びかわさき基準認証福祉製品パンフレット掲載画像

写真3: 製品を使用している状況が分かる画像

① その他: 開発・販売チームの写真など

##### 【画像に関する補足事項】

- ・ 画像は、JPEG形式RGBカラー、解像度350dpi程度、ファイルサイズは1MB程度としてください。
- ・ 画像のファイル形式は「jpg」形式としてください。
- ・ 認証時のウェブサイト公開写真は、必要に応じてリサイズして使用します。

##### 審査用動画(公開)

動画1: 製品を使用している様子がわかる動画(MP4形式)

その他: 製品のプロモーション(イメージ)動画

② 【動画に関する補足事項】

- ・ 動画は最長2分程度のもので、必ず使用している様子や場面がわかるものとしてください。
- ・ 動画のファイル形式は「MP4」形式としてください。
- ・ 動画はオフライン環境で使用しますので、Youtube等の動画配信サイトの視聴用URL送付は対応できかねます。

## 2. 審査情報 審査に関する事項について記載する項目です。

### (1) 製品の概要

① 製品概要(300字程度)(公開)  
※ 簡潔明瞭に記載してください。

段差や坂道もらくらく移動できる電動車いすです。歩行に不安がある高齢者や障害をお持ちの方など幅広く使用していただいています。体格に合わせて座面や足を置く位置を調整できることに加え、背もたれの角度も変えることができます。なおタッチパネルで簡単に操作ができます。また障害物を検知すると自動で止まる、周囲の人や物の動きに合わせて自動で加速・減速する機能がついています。安心・安全に長く使い続けられる車いすです。

想定する利用場面【カテゴリー】(公開)

選択してください

想定する利用場面【環境】(公開)

在宅と施設の両方

② 補足事項(80字程度)(公開)  
※ 補足する事項がある場合のみ

③ 想定する利用者(50字程度)(公開)  
※ 要介護度や障害の内容など、具体的に記載してください。

要介護1～3で座位を保つことが出来、意識の明瞭な高齢者  
外出意欲のある方

④ 想定する利用場所(50字程度)(公開)  
※ モニター評価先の候補となります。  
※ 特養、デイサービス、障害者入所施設、高齢者向けの健康教室など具体的に記載してください。

対象者の自宅、施設、屋外

⑤ 想定する利用シーンの具体例(200字程度)(公開)  
※ ①～④を踏まえた、具体的な製品の利用シーンや購入者の利用用途について記載してください。

筋力の低下や膝の痛みがある高齢者、下肢に障がいがある方などが、日常の買い物、通院、散歩等でご利用いただいています。自身での操作が簡易なため、ひとりでの外出も可能です。

## (2) 製品の詳細

① 開発の背景(200字程度)(公開)	開発者自身の母親が歩行困難となり、外出意欲が低下していたことから、以前のように外出意欲が向上する製品を作れないかと思い、自社の技術を活用して開発、製品化に至りました。
② 企画・開発・販売の意義(200字程度)(公開)	高齢化が進む中、介護職員は減少しているが、一方で家族が介護に時間を費やすことが難しい。高齢者で自分の力で外出はしたいが、歩行に不安がある方のニーズを満たす画期的な製品であると感じております。また今後在宅で暮らしたい、自分の力で生活したいという高齢者は増えていくと考えており、市場で展開していきたいと考えております。
③ 創意工夫(200字程度)(公開)	坂道や段差にも対応できる点、障害物検知、減速・加速機能を搭載している製品はあまりなく、幅広いユーザーに対応できる点が工夫している。
④ 社会へのメッセージ(300字程度)(公開)	自分の力を活かして前向きに生活を送りたいという方々が前を向けるきっかけとなる製品をお届けしたい。
事故の発生状況(100字程度)(非公開) ⑤ ・事故発生件数、事故の内容 ※ 具体的に記載してください。	事故が発生した実績はありません。

(3) かわさき基準の理念との適合 (全て非公開)

※公募要領の「8 基本情報・審査情報シート記載のポイント (記載例)」を参照の上、記載してください。

理念1：人格尊厳の尊重

① 利用者の人格、人権等に配慮した点 (200字程度)

デザインを仰々しくせずコンパクトで親しみのあるデザインにした。また利用者の残存能力を活かすことができるように簡単に操作できるようにした。

理念2：ニーズの総合的把握

② 把握した利用者ニーズ (50字程度)  
※ 3つまで記載できます。

- ① 歩行が困難でも自分で出かけたというニーズ
- ② 周囲の力を頼らずに自分の力を最大限に利用し生活したいというニーズ
- ③ 様々な特性を持った人々が互いに尊重し合い同じ社会で暮らしたいというニーズ

③ 上記のニーズを製品に反映した点 (150字程度)  
※ 簡潔に記載してください。

- ・段差や坂道もらくらく移動できる点。
- ・体格に合わせて座面や足を置く位置を調整できることに加え、背もたれの角度も変えることができる点。
- ・障害物を検知すると自動で止まり、周囲の人や物の動きに合わせて自動で加速・減速する点。

④ 環境負荷の低減に配慮した点 (100字程度)  
※ ある場合のみ簡潔に記載してください。

理念3：利用者意見の反映

⑤ モニター評価実施の有無

有

⑥ 実施したモニター評価の内容 (100字程度)  
※ 実施施設や実施期間、対象者と実施人数、評価結果について簡潔に記載した上で、結果が分かる資料を提出してください。

令和5年5月に特別養護老人ホームや障害者支援施設で介護度問わず複数の方々に、約1か月間ほどご使用いただいた。

⑦ 専門家評価実施の有無

有

⑧ モニター評価及び専門家評価の公表の有無

有

⑨ モニター評価や専門家意見を製品に反映させた点 (200字程度)

- ・段差や坂道もらくらく移動できる点。
- ・体格に合わせて座面や足を置く位置を調整できることに加え、背もたれの角度も変えることができる点。
- ・障害物を検知すると自動で止まり、周囲の人や物の動きに合わせて自動で加速・減速する点。

理念4：自己決定

⑩ 情報提供において配慮した点 (150字程度)  
※ ホームページ、パンフレット等において工夫した点など  
※ 製品の使用にあたり利用者の情報を取得する場合は、どのような説明を行っているかが分かるように記載してください。

ホームページやパンフレットを作成し使い方、使用場面が分かるように内容を工夫した。

⑪ 使用、修理において配慮した点 (100字程度)  
※ 使用方法、修理の問合せ等で配慮した点

使用方法や修理の問合せはAIチャットの運営、コールセンターの設置を行い、迅速かつ正確な対応ができるようにしている。

## 理念5：活動能力の活性化

製品を使用することで期待される効果や効能  
(80字程度) ※ 5つまで記載できます。

- ⑫ 注意: 病気の予防や治療に効果がある旨等医療機器的な効能・効果の記載や医療機器を想起させるまぎらわしい効能・効果・性能などの記載は薬事法違反となる可能性がありますので、記載時の表現にはご注意ください。

- ① 簡単に操作ができるため意欲的に外出できる。
- ② 坂道や段差も楽々移動できるため、安全・安心に利用できる。
- ③ 体格に合わせて座面を調整できるため、様々な人に対応ができる。
- ④ 障害物検知・加速・減速機能があるため、安全・安心に外出ができる。
- ⑤ 自分で外出が出来るようになり、前向きな気持ちで生活出来るようになる。

- ⑬ 製品の新規性(既存の類似製品にはない特徴)  
(200字程度)

- ・障害物検知、前の車両に合わせた加速・減速機能
- ・坂道も登ることができる
- ・体格に合わせた座面、背面の調節機能

- ⑭ 提案する社会的価値  
※ 最も当てはまるものを一つ選択してください

ダイバーシティ社会の実現

## 理念6：利用しやすさ

- ⑮ 購入のしやすさ(販売価格、購入方法等)において  
配慮した点  
(200字程度)

レンタルプランも用意し、購入しやすく配慮した。

## 理念7：安全・安心

- ⑯ 安全性に関して配慮した点(200字程度)

障害物検知、前の車両に合わせた加速・減速機能した。

生産物賠償責任保険の加入の有無  
加入の場合、証明書(写)等を提出してください

加入

## 理念8：ノーマライゼーション

- ⑰ 利用者が生活環境(自宅、施設等)で製品を使用できるよう配慮した点(200字程度)

- ・段差や坂道もらくらく移動できる。
- ・体格に合わせて座面や足を置く位置を調整できることに加え、背もたれの角度も変えることができる。
- ・障害物を検知すると自動で止まり、周囲の人や物の動きに合わせて自動で加速・減速する。

以上の記載が終わりましたら、「チェックリスト（新規認証製品用）」のご記載をお願いいたします。